

# Sanze.*Eze*<sup>イーゼ</sup>

サンゼイーゼ | 広報三瀬 特別号 第61号

令和4年3月31日・三瀬地区自治会 広報調査部発行

2月28日現在 三瀬の人口 489世帯 男596人 女674人 計1,270人

- 八森山風車見学会
- 地域づくり・理事研修
- 自主防災訓練
- たのしみま書
- 三瀬地区作品展
- 三瀬地区の SNS 研究
- 三瀬のこのひと！  
大滝康弘さん・代紀子さん／大滝鮮魚店
- 瑞宝双光章受章・事務職員紹介
- こんにちは！赤ちゃん

未来のためのすごい風車



黒田 祈里 さん  
(水無)

コミセンからバスで出発して着くと、思ったより大きくて、「ブオン、ブオン」と音がしました。風車の中はエレベーターがあつて、一番上まで登れます。風車の中にエレベーターがあつて不思議でした。回った力を電気に代えるのが、風車の役目です。SDGs になっています。そんな風車が三瀬にあることが、未来の三瀬を守ることになると思います。みんなにも風車のことを知ってもらいたいです。



地域づくり研修会に参加して



第4地区会 会長  
石塚 篤 さん  
(下町)

12月11日から3泊4日の日程で山陰地方へ理事研修に行つて来ました。今回は、これまで何度も三瀬に来られ地域ビジョン作成にあたりご指導して頂いた、鳥取大学地域学部の筒井教授を訪ね、学生とのゼミ合同研修会を行いました。内容は、三瀬地区の紹介と、学生による地域づくりインターン報告(三瀬を含む4つの地区)その後、ディスカッションの場を設けそれぞれの課題や特徴等を話し合いました。とても有意義な研修会でした。

12月19日には、三瀬に筒井先生をお迎えして地域づくり研修会を行いました。地域ビジョン完成後、新型コロナウイルスによって、色んな活動や事業等が制限され、なかなか進まない中、筒井先生からは「今ある状況の中で出来る事をする事で次に繋がって進んで行くんだ」とアドバイスを頂きました。コロナの収束と共にビジョンの達成に向けて取り組んでいく事を願うばかりです。



地域づくり研修会



自主防災訓練に参加して



三瀬消防2班 班長  
小笠原 和司 さん  
(荒町)

今年も昨年同様各地区に分かれて自主防災訓練が実施されました。私は消防団員として2地区の訓練に参加しました。

近年、日本全国各地で見られる集中豪雨等による増水に対応するための土嚢作り・土嚢積み訓練と火災防備である消火栓からの放水訓練を消防団員による指導のもと行われました。内容は昨年とほぼ同じでしたが、地域住民の方々は積極的に参加していて、自分たちで何とかしようとする防災の意識が高いと感じられました。私も消防団員として指導する立場での参加でしたが、改めてその手順や指導方法等に気付く点も多く、防災に対する意識が高まりました。防災時には命を守るために避難することが重要ですが、こういう防災意識は避難先でも活かされると思います。これからも地域防災を大切にしながら地域のコミュニティに参加していきたいと考えています。



『たのしみま書』に参加して



石塚慶子さん  
(下町)

カラフルな色の筆で描かれていた齋藤やえ先生の書は、花や野菜、動物や風景、気持ちまでも絵のように表現されていて、見るだけで心躍りました。書道の固定概念から離れることができないう頭の固い私は結局、先生のお手本をまねることしかできませんでした。好きな色の筆を選び、他の参加者さん達の出来ばえを参考にしながら楽しい気持ちで描くことが出来ました。お誘いのお声をかけていただいて参加して、思いがけないステキな時間を過ごしました。



素晴らしい作品展



生涯学習部 部長  
川上恵さん  
(下町)

去る十一月、二日間に渡って三瀬住民の自慢の力作を展示する作品展を開催いたしました。コロナ禍ではありましたが、予想以上に多くの方が作品を見に来て下さいました。どの作品も暖かみと個性に溢れた素晴らしいものでした。ご覧にお越しにいただいた方の中には、普段あまりお付き合いのない方の隠れた趣味や才能に感嘆すると共に、どうやって作るのだらう？という興味も湧いて、次回は自分も作って出展してみようかな？と、製作意欲が芽生えた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。次年度も沢山の皆様のご出展をお待ちしています。



三瀬地区のSNS研究



山形大学農学部  
塩田憧和さん

私の卒業研究では、農村地域のSNSの継続運用に向けた有効な運用方法を検討するため、継続してFacebookが運用されている鶴岡市三瀬と由良に着目しました。そして、両地域の投稿の変遷と運用体制の分析を行いました。

課題として投稿内容のマンネリ化が両地域に見られました。対策として、移住者にFacebook運用に参画してもらう、今後の地域のあり方についての投稿を行うことが有効と考えました。

心理的な課題に関しては投稿の担当者の担当期間を決め、終わりが見える形にすることが有効と考えました。

研究を行うことで、課題や予想していなかった効果、側面、あまり詳しく知る機会がなかった三瀬と由良という地域についても知識を深めることができました。

最後に、本研究にご協力いただいた地域の皆様には、お忙しい中、お時間を割いて私の研究にご協力していただきまして誠にありがとうございます。本当にありがとうございました。



# 三瀬のこのひと!



大滝鮮魚店 大滝 康弘さん 代紀子さん 夫妻 (荒町)

家業を継ぐ2代目大滝鮮魚店・康弘さん、代紀子さん夫妻に今回はお話を伺いました。

大滝鮮魚店は昭和42年に康弘さんの親、悦子さんが開業しました。康弘さんは高校卒業後山形に就職し、米沢勤務の時に代紀子さんと知り合い結婚、(康弘さんのひと目ぼれ♡により…)子供の出産を機に三瀬に戻ってきたそうです。

最近では若い方のお魚離れ、またコロナ禍でもあり仕出し、オードブルの注文も少なくなりましたが、三瀬だけではなく、鶴岡市内・水沢の大谷、清水など曜日注文を受け、朝のうちに車でまわるそうです。朝4時起きし、配達、夕方は山北まで仕入れと朝から晩まで忙しい毎日ですが、お客様に喜ばれ、『また来ての〜』と声をかけられることが仕事の大変さを忘れて頑張れる活力となるそうです。

また、昼の商いも頑張っており、生魚、刺身、切身、煮付、総菜などにも

力を入れていそう、今は骨のないお魚が人気だそうです。昔は忙しく、睡眠時間も3、4時間しかなかったのですが、今は自分たちにあつた仕事スタイルで自分たちらしく仕事をしたいとのこと。

孫7人!!がいる大滝夫妻、休日は孫と会い一緒に遊んだり、夫婦で外食したり買い物したり。のんびり過ごしています。『孫はかわいく、なんでも買ってやりたくなる〜』とお話する顔が笑顔いっぱいでした。これからは、お客様に寄り添って手軽に食べられるお魚を提供していきたい、お客様に合わせてゆっくり話すこと、レシピの提案など、寄り添った接客を心がけているそうです。

どんなに忙しい時も、二人で乗り越えて来たからこそ、今がある。明るく気さくにお話してくれた大滝夫妻、お忙しい中ありがとうございます。



## 「令和3年度受賞者」おめでとうございます



守屋良一氏 (仲町)

瑞宝双光章受章 (郵政事業公労)



事務職、郵政事務官として長年従事された後、特定郵便局長として郵政事業の発展に貢献されました。また、郵便局長時は西田川部会にて、副部長、部長として歴任されました。

※加藤周一氏は令和2年度に【黄綬褒章受章】で広報三瀬特別号第59号に掲載しております。

## 三瀬地区事務職員紹介



佐藤理沙さん (由良)

「こいむの母ちゃんだつてが!」由良のことも満足に知らない私が、はたして三瀬の方々に受け入れてもらえるのだろうか…と、最初はとても不安でしたが、主人の父や母(特に母ゆきみ)を知っている方も多く、気さくに話しかけてくださる三瀬の方々の優しさに触れ、感動している毎日です。とにかく、三瀬の方々は優しい方が多いのだなあと感じています。時々由良についても聞かれますが、この仕事に携わるうちに三瀬の方が詳しくなりつつある自分がいきました。いつか「もうすっか三瀬の人だのお」と言われるようになります。どうぞよろしくお願いたします。

## こんにちは!赤ちゃん



長谷川 惣大くん 令和3年6月生まれ (長谷川誠さん・亜祐美さん) 宮町

屋号の惣兵衛から惣の字を取り、丈夫で元気な子に育つようにと願いを込めて、惣大と名付けました。人見知りせず、いつもにっこり笑顔の男の子です。現在、離乳食を始め9キロ超のヘビーウエイト!はいはいで運動中です!お姉ちゃんと仲良く、すくすく育つてね。姉弟共々、見かけた際は気兼ねなく声をかけて下さい。